

## 令和元年度活動計画について

### ① はじめに

『革新・深化～町を元気にするために～』

スサノオの風は、法人設立の原点、「文化」「スポーツ」の振興を図りながら、人口減少が加速する佐田地域の活性化のために地域振興に一層の力を注ぎ、佐田地域民から信頼をより高め、活動の深化を図って行きたいと考えます。

### ② 各部門の事業方針

#### 【本部関係】

- ・理事・社員が協働し、法人の使命を深化させていきます。
- ・法人の継続性を図るため、事務局長の選任など社員養成に努めます。
- ・クラウドの活用により、法人内、関係団体との情報共有を図ります。
- ・助成制度の活用や寄附金など財源確保に努力するとともに、効果的な支出に努めます。
- ・「風のたより」毎月発行を3か月に1回の発行など、情報発信をより充実させます。
- ・島根大学教育学部 作野教授と連携し、「さだらボ」の開設、定住調査への協力を行います。

#### 【スサノオホール・佐田スポーツセンター・文化練習館】

- ・指定管理契約期間が令和元年度末をもって満了となるため、継続して指定管理が受けられるよう、利用者の増加、自主事業の実施、安全・適切な施設管理に努めます。
- ・スサノオホールの舞台技術者が平成30年度末で退職したため、業務委託を行い運営に支障が生じないように配慮するとともに、社員の初歩段階の舞台技術取得に努めます。

#### 【障がい者福祉事業】

障がい者就労継続支援施設「やまびこ園」は、利用者の減少があり、経営的に苦しい一面もありますが、今後も利用者視点に立ち親しまれる施設づくりを進めていきます。ナカバヤシ(株)からの軽作業の受注、農事組合法人橋波アグリサンシャイン等と連携し、野菜の収穫作業の手伝いなど「農福連携」を今年度も重点的に進めていきます。また、「朝日たたら」の管理も継続して行います。

相談支援事業については、今後も積極的に実施してまいります。

#### 【小さな拠点づくり中間支援業務】

人口減少や高齢化の進行により、住民の生活に必要な生活サービスや機能が維持できなくなっている地域がある中、暮らしを守り、地域コミュニティを維持し

て持続可能な地域づくりを目指すための取組として、「小さな拠点づくり」に全国的に注目が集まっています。

29年度から島根県の「小さな拠点 中間支援」事業の受託は終了しましたが、継続して支援・実践活動を展開していきます。

- 佐田自治協会「小さな拠点づくり部会」の運営支援
- 「地域づくりリーダー養成講座」の開催
- 「小さな拠点づくりミニフォーラム」の開催
- 若者・女性の実践活動の支援
- 振興協議会単位の地域計画策定（2地区程度）
- アドバイザーの設置（島根大学教育学部 作野教授）
- 定住調査への協力

#### 【経済活動の活性化を図る事業】

- 佐田の小さなマーケット「cotaba」の拡充を行います。今年度は、出雲市市民協働事業の助成を受け、高齢者の参加(出店を含む)も促していきます。
- 第3種旅行業により、佐田地域を訪れていただくツアー企画を行います。
- 佐田地域にちなんだグッズの開発を行います。

#### 【その他事業の展開】

- ①各種団体の事務局を受託 佐田町文化協会、出雲市体育協会佐田支部
- ②出雲市レンタサイクル貸出業務
- ③その他、佐田の地域づくりに寄与する事務事業があれば、積極的に担っていきます。